

厚生産業委員会

(参加議員) 大山盛久 桑田昌哲 大月隆司
 藏本隆文 齋藤一信 仁科文秀 原田てつよ
 東川三郎



6月
28~30

農業振興に関する施策

農林
水産省

農林水産省では、農村の活性化を図る上で、重要な課題である「しごとづくり」「暮らし」「土地利用」「活力づくり」の施策を推進する新たな展開方向を示しています。社会情勢が大きく変化している中、地域資源やデジタル技術を活用し、課題解決に向けた活動が行われ、関係する機関が連携する仕組みづくりも進められています。また、農村の振興・活性化を後押しする国の交付金制度も設けられています。

地域ぐるみの農業経営

埼玉県
熊谷市

小原営農は、農業従事者の担い手の不足、遊休農地の増加といった地域農業の課題に取り組むために設立された農事組合法人です。米、麦、大豆、菜種の二毛作と露地野菜栽培を中心に、作付体系を1年ごとに変えるブロックローテーションを導入しています。豊かな農村づくりの中核として、菜種栽培・菜種油の販売、田植え・収穫作業体験、農福連携、自然環境の保全などを行い、地域ぐるみの農業経営を目指しています。

駅前広場再整備事業

埼玉県
行田市

行田市では、JR行田駅周辺を都市拠点として設定し、にぎわいの創出などに向けた環境整備を行っていくことが、都市計画マスタープランで位置づけられました。その先導的な取組の一つとして「駅前広場再整備」が5年間の短期的目標として重点的に行われ、魅力ある駅前の機能形成を図るために整備が行われました。今後は、複合施設の整備、市有地の有効活用など、中長期的な視点で実現に向けた取組が進められています。

議会運営委員会

(参加議員) 仁科文秀 齋藤一信 天野喜一郎
 大山盛久 藏本隆文 栗尾典子 東川三郎
 山本聡



7月
18~20

中学校との学習交流会・市民の声を聴く会について

北海道
千歳市

千歳市議会では、議会改革推進プランを策定し議会改革を進めています。この議会改革推進プランの取組の一環として、議会内の議論にとどまらず、広く市民の声を聴くことを目的とした「市民の声を聴く会」を継続的に開催しています。さらに、若年層に議会を理解してもらい、身近に感じてもらうことで政治・社会への参加意識を醸成することを目的に「交流学习会」も実施しています。

「議員の学校」開校への取組について

北海道
栗山町

栗山町議会では、平成27年、平成31年の2度にわたり、町議会議員の選挙が無投票となったことを機に、令和元年6月、議員の報酬と定数に関する調査特別委員会を設置。結論として、①報酬は維持、②議員定数は12名から11名に、③議会や議員に対する理解や魅力を伝える取組、議会として次世代の議員を発掘・育成する取組をする、とし、「議員の学校」を開校することとなりました。令和5年4月の町議会議員選挙では受講者から立候補者が3名あり、全員が当選しました。

議会改革の取組について

北海道
登別市

登別市議会では、委員会のオンライン会議開催の要件として、欠席事由の拡大などとともに、女性が議会に参画しやすい環境を整えるとして、感染症要件+災害要件+育児・介護要件としています。市民との意見交換については、毎年、委員会ごとにテーマを決めて行う常任委員会での意見交換と、議会全体として行う議会フォーラムを開催し、自由闊達な意見交換が行われています。